



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月14日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 9941 URL <https://www.taiyo-bussan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 伸介
問合せ先責任者 (役職名) 総務部 (氏名) 井坂 勇登 TEL 03-5946-8000
ジェネラルマネージャー
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の業績 (2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	14,704	△3.9	98	△66.3	62	△78.8	46	△80.6
2022年9月期第3四半期	15,306	25.0	291	169.3	295	283.8	241	230.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	24.23	24.02
2022年9月期第3四半期	150.84	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第3四半期	7,322	629	8.4	318.60
2022年9月期	8,235	564	6.7	287.47

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 615百万円 2022年9月期 555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	4.5	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第3四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付書類P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

営業利益、経常利益、当期純利益については、「—」となっておりますが、現時点での合理的予想が困難であるため、ともに「未定」となっております。詳細は2月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年9月期3Q	1,934,019株	2022年9月期	1,934,019株
2023年9月期3Q	753株	2022年9月期	753株
2023年9月期3Q	1,933,266株	2022年9月期3Q	1,599,666株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症が収束に向かいつつあり、景気に持ち直しの動きが見られるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や国際情勢による原材料価格の上昇等により先行きが不透明な状況が依然として続いております。

このような環境の中、当社は主要商品である食肉関連において、営業利益率及び資金効率の向上を目指し、当事業年度より、輸入鶏肉の取扱の縮小を進めてまいりました。加工品をはじめとする新規商材の開拓等も含め、さらに利益率の高い商材へとシフトを進めております。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は147億4百万円(前年同四半期累計期間比3.9%減)、営業利益98百万円(前年同四半期累計期間比66.3%減)、経常利益62百万円(前年同四半期累計期間比78.8%減)、四半期純利益46百万円(前年同四半期累計期間比80.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(食料部)

牛肉は、前年同期と比較して外食産業の需要は、増加傾向にあるものの、現地価格の高騰により厳しい状況が続き取扱数量・売上高ともに減少となりました。タイ産加工食品は、新規商材の提案が成約等もあり、取扱数量・売上高とも前年同期比では増加しました。鶏肉は、輸入鶏肉の縮小を進めたこともあり、取扱数量・売上高ともに前年同期比で減少となりました。一方で国産鶏肉が徐々に成約を積み上げてきております。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、60億95百万円(前年同四半期累計期間比16.6%減)となりました。

(営業開拓部)

農産品は、産地価格の高騰や、現地からの船積み遅れ等が生じているものの、利益率の高い新規の商品の取引を伸ばすことができ、売上高を増加させることができました。化学品につきましては、価格競争の影響や為替相場の影響により売上高・数量共に減少しました。また、中国関連におきましては、中国向け自動車販売やネット事業者向け商材の販売が順調に推移しておりますが、中国の春節前のコロナ政策の転換による影響により売上高は前年同期比では減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、64億94百万円(前年同四半期累計期間比1.2%増)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉は、市場における在庫過剰感が依然として続いておりますが、新規の取組による商材の成約もあり、取扱数量・売上高ともに前年同期比では増加いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間での売上高は、21億13百万円(前年同四半期累計期間は34.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期累計期間の資産につきましては、主に売掛債権及び商品等の減少により前事業年度末に比べ9億12百万円減少し、73億22百万円となりました。

負債につきましては、仕入債務の減少及び借入金の返済により前事業年度末に比べ9億77百万円減少し、66億93百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上等により前事業年度末に比べ64百万円増加し、6億29百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の通期業績予想については、現段階においては不透明であることから、現段階では2023年2月14日に発表の予想の通り、未定としております。今後の状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、適正かつ合理的な算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	320,126	733,025
受取手形及び売掛金	4,398,704	4,056,573
商品	2,592,884	1,503,783
その他	394,181	439,916
流動資産合計	7,705,896	6,733,299
固定資産		
有形固定資産	228,905	223,929
無形固定資産	2,859	2,859
投資その他の資産	298,151	362,792
固定資産合計	529,916	589,580
資産合計	8,235,813	7,322,879
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,154,025	771,158
短期借入金	5,949,610	5,574,996
未払費用	345,632	145,637
その他	74,808	54,932
流動負債合計	7,524,077	6,546,724
固定負債		
退職給付引当金	107,875	100,960
その他	39,161	45,883
固定負債合計	147,036	146,843
負債合計	7,671,113	6,693,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	257,792	257,792
資本剰余金	157,792	157,792
利益剰余金	130,455	177,312
自己株式	△969	△969
株主資本合計	545,071	591,928
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	10,699	24,020
評価・換算差額等合計	10,699	24,020
新株予約権	8,927	13,361
純資産合計	564,699	629,311
負債純資産合計	8,235,813	7,322,879

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	15,306,285	14,704,044
売上原価	14,643,095	14,275,589
売上総利益	663,190	428,455
販売費及び一般管理費	371,539	330,181
営業利益	291,650	98,273
営業外収益		
受取賃貸料	7,300	8,503
為替差益	28,876	1,763
保険解約返戻金	17,363	1,050
助成金収入	2,995	—
その他	772	1,091
営業外収益合計	57,307	12,408
営業外費用		
支払利息	41,372	40,584
その他	11,800	7,271
営業外費用合計	53,172	47,855
経常利益	295,785	62,826
特別損失		
減損損失	23,396	—
特別損失合計	23,396	—
税引前四半期純利益	272,388	62,826
法人税、住民税及び事業税	39,317	15,125
法人税等調整額	△8,234	843
法人税等合計	31,082	15,969
四半期純利益	241,306	46,857

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	7,316,692	6,413,539	1,576,053	—	15,306,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,316,692	6,413,539	1,576,053	—	15,306,285
セグメント利益	326,091	87,008	15,464	△136,915	291,650

(注) 1. セグメント利益の調整額△136,915千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	全社	合計
減損損失	—	—	—	23,396	23,396

(注) 「全社」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係わる減損損失であります。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,095,455	6,494,811	2,113,777	—	14,704,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,095,455	6,494,811	2,113,777	—	14,704,044
セグメント利益	86,875	78,824	41,103	△108,530	98,273

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,530千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。